

平成31年1月15日

那賀医師会 会員各位

那賀医師会

学術担当理事 宮井 利彦

平成30年度 第8回公立那賀病院との合同勉強会のご案内

公立那賀病院との合同勉強会を下記のとおり行います。ご多忙中とは存じますが、多数のご参加をお願い致します。

記

日 時：平成31年2月14日（木）午後4時から

場 所：公立那賀病院 北別館 講義室

講 師：公立那賀病院 腎臓内科 岩谷 由佳 先生

演 題：「透析の見合わせについて」

※この勉強会は日本医師会生涯教育講座：1単位

カリキュラムコード：（ 2 ）、（ 81 ）を申請中です。

抄 録：

わが国の新規透析導入患者および年度末透析患者の平均年齢は、年々高齢化が進んできています。原疾患も心血管疾患などの重篤な合併症を有する糖尿病性腎症が一位であり、透析導入年に死亡した患者の死因の中で悪性腫瘍が10%を超えている状況、透析患者の5.6%が寝たきりの状態であることなど、透析治療は救命治療から延命治療という要素が強くなってきています。

維持血液透析療法の治療目標は、患者の生活および生命の質を向上させ、維持することであるが、臨床の場では終末期患者に対する維持血液透析の開始または継続を見合わせる事態もあります。その一方で、透析の見合わせ（透析非導入、継続中止）についてのガイドラインはなく、提言に留まっています。

私が当院に赴任してこの2年で透析の見合わせについて考えさせられた3症例をご紹介します。